

# I 学校体育

## —京都府児童生徒の体格・体力—

### 1 本府児童生徒の体力・運動能力についての課題

#### (1) 本府児童生徒における課題

本府の児童生徒の体力・運動能力は、依然としてピーク時とされている昭和60年頃の状況と比較すると低い水準にあり、比較可能な体力テスト項目（握力・50m走・ボール投げ）においても、14歳及び17歳の50m走以外の項目で昭和60年度結果を下回る状況である。特に、11歳男子のボール投げでは約6m低下している。

項目別にみると、「握力」、「長座体前屈」及び「反復横とび」に課題があり、学校教育活動における取組だけでなく、地域及び家庭においても実態に合わせた取組が必要である。

また、運動習慣については、加齢とともに実施頻度が上昇する傾向にあるが、小学校男女低学年児童及び高等学校生徒への運動習慣の定着化に向けた取組が必要である。

#### (2) 各校種別の課題

##### 【小学校】

「握力」、「長座体前屈」及び「反復横とび」の体力面とともに、低・中学年の男子と全学年の女子児童の運動習慣（運動の実施状況）において課題が見られる。これらの課題解決に向けて、体育授業だけでなく学校教育活動全体及び地域・家庭との連携による取組が必要である。

##### 【中学校】

男女ともに「20mシャトルラン」で高い数値を示している。しかし、男子は、「20mシャトルラン」を除く多くの項目で全国平均値を下回り課題が多く、女子は「握力」及び「長座体前屈」に課題が見られる。

##### 【高等学校】

男子は「上体起こし」及び「ボール投げ」、女子は「長座体前屈」で全国平均値を下回る。

運動習慣については、男女とも課題が見られる。

### 2 体力・運動能力向上を図る取組のポイント

#### (1) 課題解決に向けた取組等

- 府内全小・中・高等学校等で「体力向上推進プロジェクト」の推進を目指すとともに、児童生徒の体力や運動習慣等の状況を分析し、各校の実態に応じた、具体的、効果的な取組が必要である。
- 「握力」、「長座体前屈」及び「反復横とび」を重点的な課題として位置付け、各校の実態に応じた取組が必要である。運動遊びを通じた体験活動を意識的に取り入れたり、授業の際に関連動作を取り入れた体操を実施するなど、楽しみながら動きを獲得したり体力・運動能力の向上につなげたりすることが重要である。

#### (2) 各校種別指導及び取組のポイント

##### 【小学校】

- 低学年での「運動遊びガイドブック」及び「まゆまる体操」の活用並びに「体づくり運動」領域における更なる授業の工夫・改善の推進
- 新体力テスト結果と「京の子ども元気なからだスタンダード」等の活用による、日常的な運動経験機会の設定
- 運動を苦手とする児童に焦点をあてた、仲間とともに体を動かす機会の設定

##### 【中学校】

- 新体力テスト結果の分析をもとにした継続的な取組の実施
- 体力向上に係る取組についての校内体制の充実
- 小学校での取組内容との接続を重視した、「体づくり運動」の充実

##### 【高等学校】

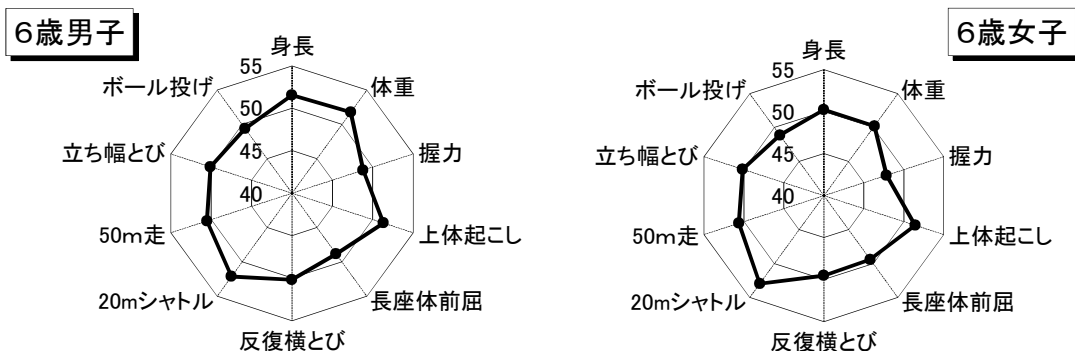
- 「体づくり運動」の充実をはじめとする総合的な体力の向上に向けた取組の推進
- 運動習慣定着に向けた取組の実施
- 男女ともに運動の意義の理解と主体的に取り組む習慣づくり

### 3 現 状

#### (1) 京都府の現状（校種別）

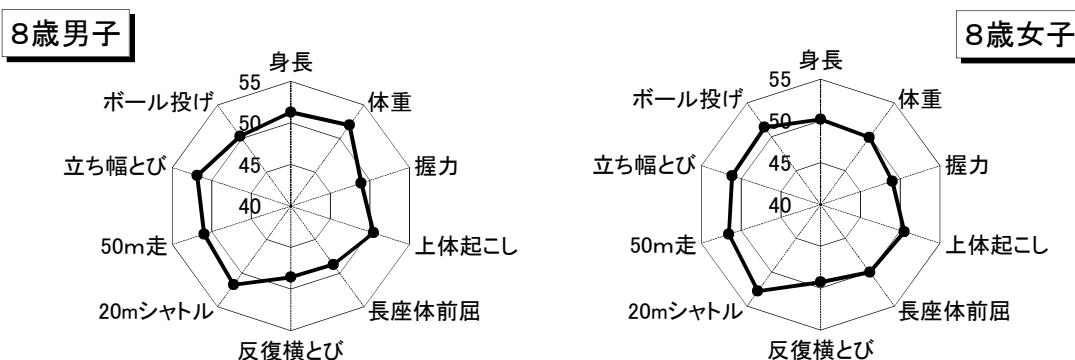
図1-1から図1-13は、平成29年度全国平均値を基準(50)にして、平成30年度京都府平均値からTスコアを求め、校種別、男女別に比較したものである。

図1-1 小学校 6歳（第1学年）



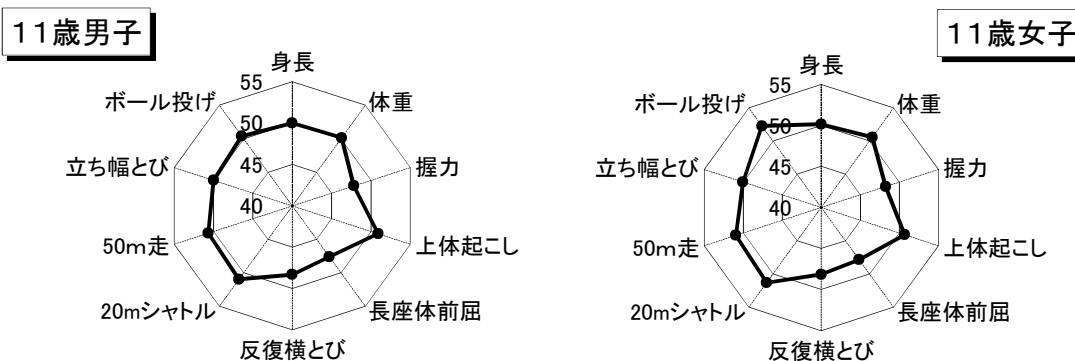
〔体格〕 身長・体重ともに男子は全国平均値を上回り、女子は概ね同じである。  
 〔体力〕 男女ともに、握力に課題が見られる。

図1-2 小学校 8歳（第3学年）



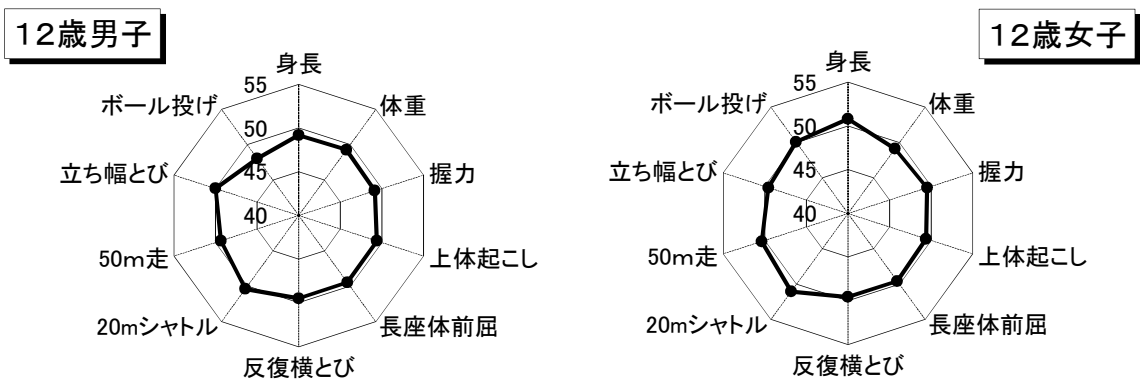
〔体格〕 身長・体重ともに男子は全国平均値を上回り、女子は概ね同じである。  
 〔体力〕 男女の握力、反復横とび及び男子の長座体前屈に課題が見られる。

図1-3 小学校 11歳（第6学年）



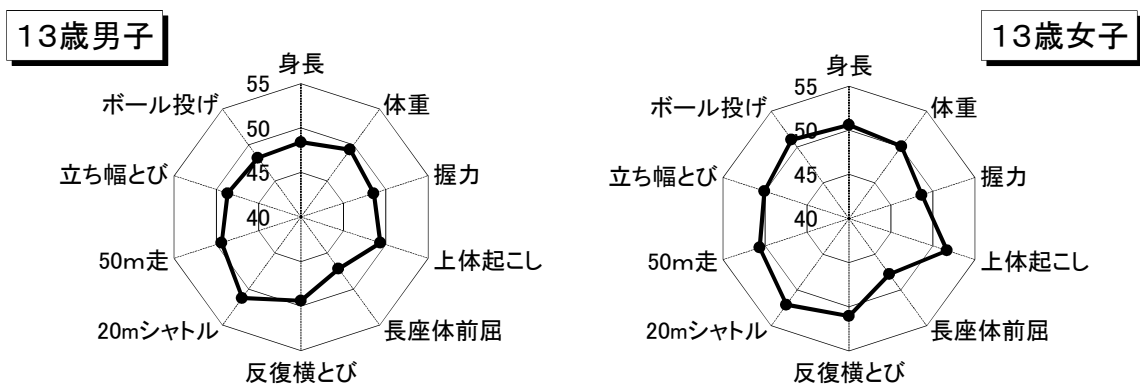
〔体格〕 男女ともに全国平均値と概ね同じである。  
 〔体力〕 男女ともに、握力、長座体前屈及び反復横とびに課題が見られる。

図1-4 中学校 12歳 (第1学年)



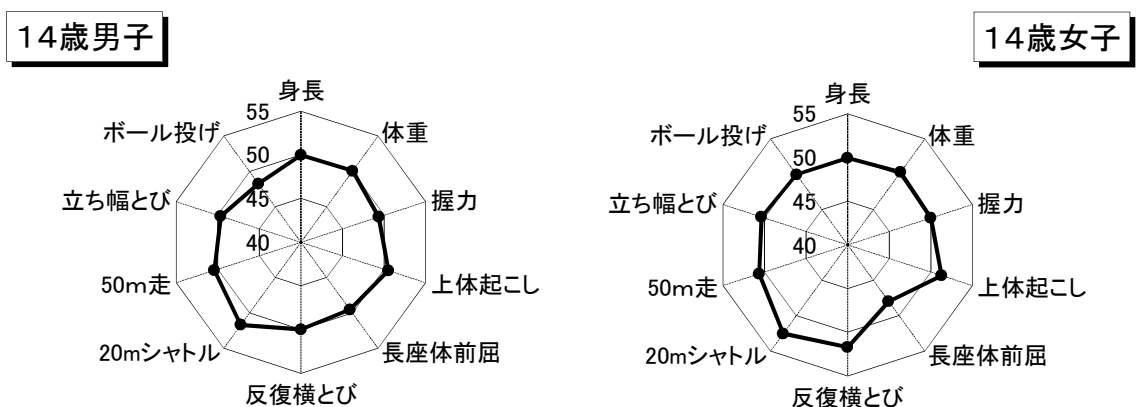
〔体格〕 身長は男子で全国平均値を下回り、女子で上回る。体重は男女ともに下回る。  
 〔体力〕 男子のボール投げで課題が見られる。

図1-5 中学校 13歳 (第2学年)



〔体格〕 男子は身長・体重ともに全国平均値を下回る。女子は全国平均値並である。  
 〔体力〕 男子のボール投げ及び男女とも握力、長座体前屈で課題が見られる。

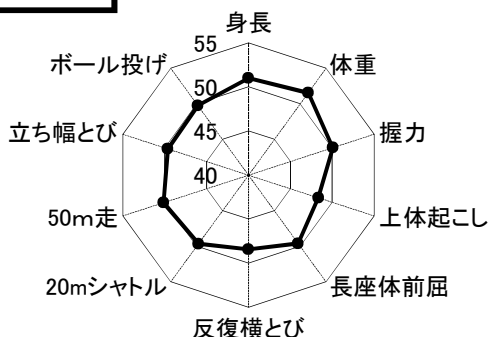
図1-6 中学校 14歳 (第3学年)



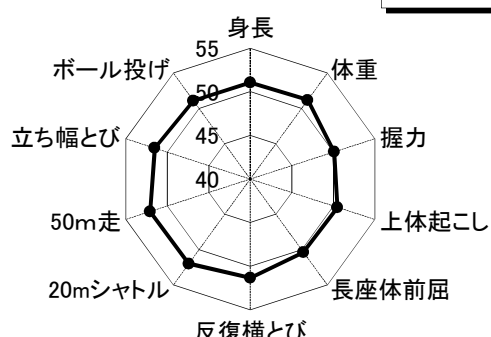
〔体格〕 男女ともに全国平均値並である。  
 〔体力〕 男子のボール投げ、女子の長座体前屈で課題が見られる。

図1-7 高等学校 15歳 (第1学年)  
(全日制)

15歳男子



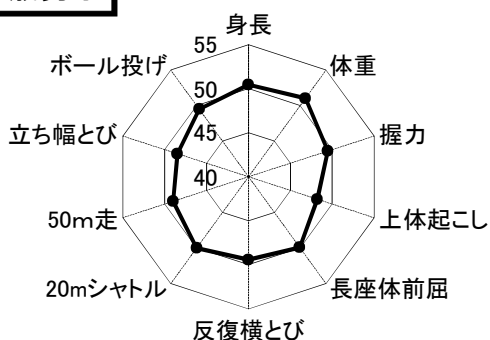
15歳女子



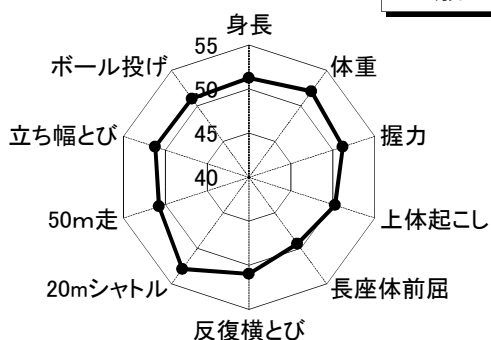
〔体格〕 男女ともに全国平均値を上回る。  
〔体力〕 男子の上体起こし及び反復横とびで課題が見られる。

図1-8 高等学校 16歳 (第2学年)  
(全日制)

16歳男子



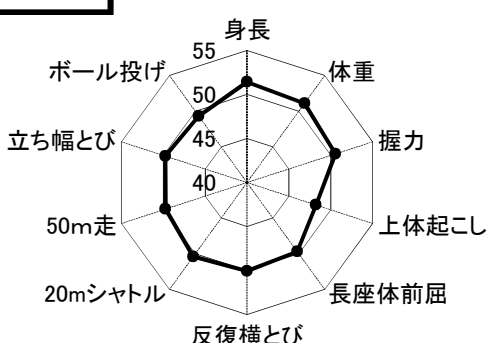
16歳女子



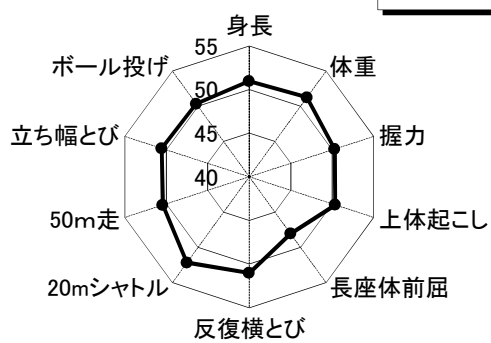
〔体格〕 男女ともに全国平均値を上回る。  
〔体力〕 男子の上体起こし及び立ち幅とびで課題が見られる。

図1-9 高等学校 17歳 (第3学年)  
(全日制)

17歳男子



17歳女子



〔体格〕 男女ともに全国平均値を上回る。  
〔体力〕 男子の上体起こし及び女子の長座体前屈で課題が見られる。

**高等学校(定時制)全般**

〔体格〕男子は全国平均値並であり、女子は体重が上回る。  
 〔体力〕男女ともに多くの項目において全国平均値を下回り、課題が見られる。

図 1-10 高等学校 第1学年 (定時制)

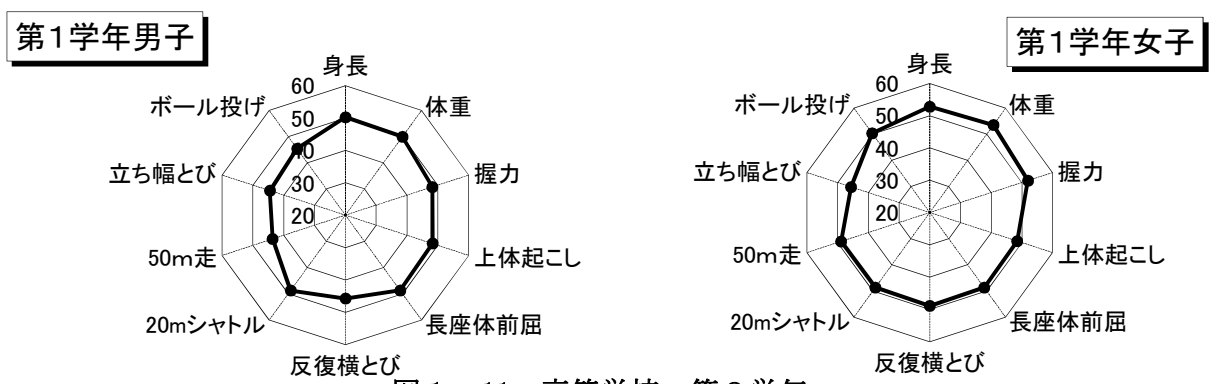


図 1-11 高等学校 第2学年 (定時制)

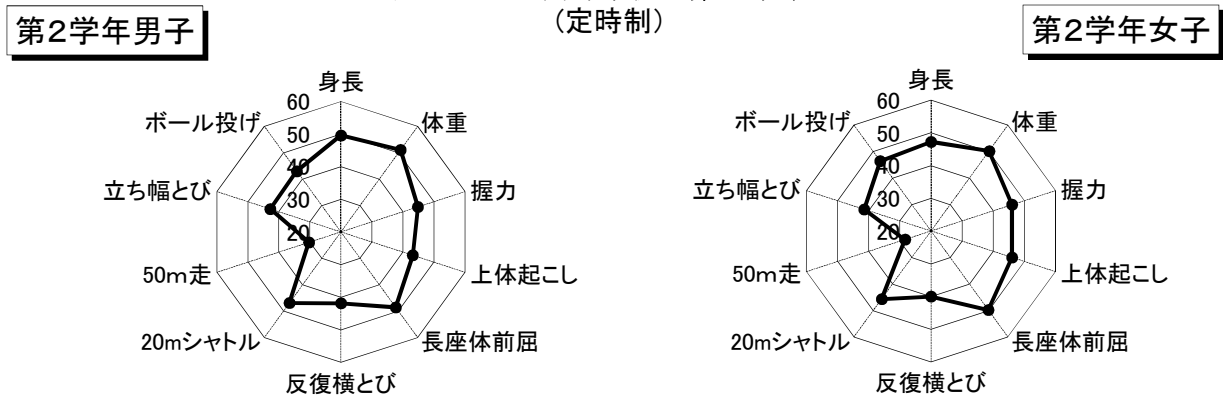


図 1-12 高等学校 第3学年 (定時制)

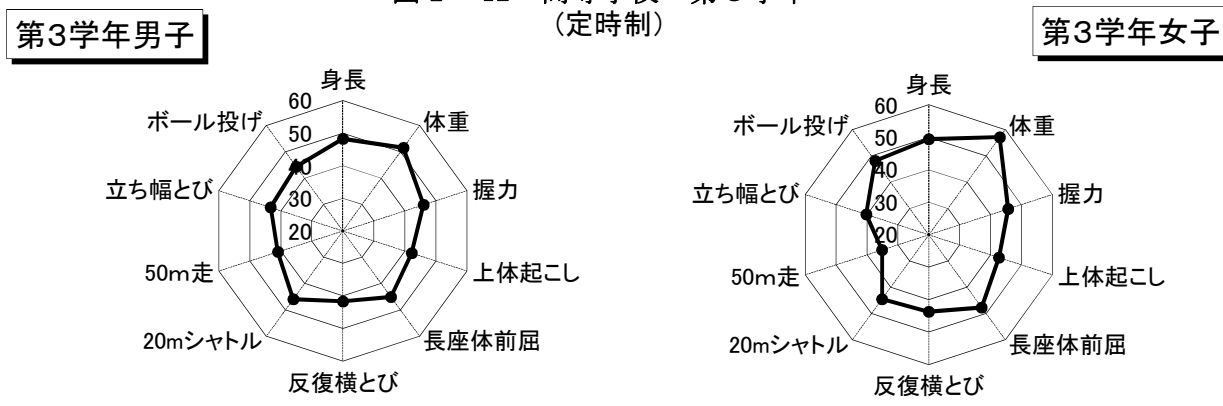


図 1-13 高等学校 第4学年 (定時制)

